

# 補正予算など41議案を

# 認定・可決・同意!

9月定例会は1日に開会し、10月6日に閉会しました。決算14、補正予算9、条例6、一般3、人事9の計41議案はすべて認定・可決・同意しました。また、観光振興調査、交通政策調査の各特別委員会から調査報告書が提出され、すべての調査報告書について承認しました。  
 なお、一般会計補正予算(第2号)について修正案(自治基本条例制定検討経費を予備費にまわす)が提出されましたが、採決の結果否決されました。

今回の補正予算の総額は約32億4000万円、補正後の予算総額は約90億1900万円となりました。

## 一般会計補正予算の主なもの

### 庁舎耐震・大規模改修事業

1億24万円

本庁舎の耐震改修及び大規模改修に関する実施設計に要する経費です。

### 自治基本条例制定検討経費

447万円

市民参画・協働など住民自治に基づく市政運営の基本原則を定める自治基本条例の素案作成に要する経費です。

### 住宅リフォーム緊急助成事業

2億1819万円

住宅の性能向上等のためのリフォーム工事に對する補助経費です。

私立保育園整備助成経費  
 1億6170万円  
 愛の泉保育園の園舎改築に對する補助経費です。

### 賠償金

8億5000万円

佐賀市が営んでいたガス事業を平成15年4月に佐賀ガス(株)に譲渡したことに關し、譲渡資産の大半を占めるガス導管に隠れた瑕疵があるなどとして、平成18年9月に同社が佐賀市を被告とする損害賠償請求を佐賀地方裁判所に提訴したことについて、本年9月15日に同裁判所から勧告された和解



案を受諾することに伴い、賠償金を支払うための経費です。

## 条例等の主なもの

### 佐賀市景観条例

本市の自然・歴史・文化等を生かし、市民の皆様が誇りと愛着を持てる魅力ある地域の形成を推進するため、景観法に基づき事前に届出が必要となる建築物の建築等に係る行為や、良好な景観を形成する上で重要となる建造物の管理の基準など、本市の景観の形成に關し必要な事項を定めるものです。

### 佐賀市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災の被害の甚大さ等にかんがみ、災害弔慰金の支給等に関する法律が一部改正され、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲が、死亡者と同居し、又は生計を同じくしていた兄弟姉妹にまで拡大されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

## より具体的な提言を目指し、全議員が決算審査に!!

平成22年度の決算議案の審査は、これまでのやり方に加え、新たに本市の事務事業の評価を実施しました。決算特別委員会は全議員参加で設置し、より個別・具体的な審査を行いました。

### 決算特別委員会

#### 〔総務分科会〕

- ◆川原田 裕明
- ◆中野 茂康
- ◆実松 尊信
- ◆山下 伸二
- ◆池田 正弘
- 福田 喜久子
- ◎福島 龍一
- ◎永島 久一
- ◎福井 久義
- ◎岡田 義広

#### 〔経済企業分科会〕

- ◆千綿 正明
- ◆中本 正一
- ◆重松 徹一
- ◆久米 幸博
- ◆川崎 直昭
- ◆山本 嘉宣
- ◆西村 嘉徳
- ◆平原 嘉徳

#### 〔文教福祉分科会〕

- ◆野口 正之
- ◆川副 龍之介
- ◆山田 誠一郎
- ◆松永 憲明
- ◆白倉 和子
- ◆松井 雄治
- ◆山下 明彦
- ◆重田 音彦

#### 〔建設環境分科会〕

- ◆山口 忠則
- ◆原口 弘展
- ◆野中 宣明
- ◆中山 重俊
- 本田 耕一郎
- 江頭 弘美
- 黒田 利人
- 武藤 恭博

◎は委員長、○は副委員長、◇は主査、◆は副主査

## 事務事業評価報告書を市長に提出しました。

平成22年度決算に係る事務事業に対する評価報告書を市長に提出しました。



10月6日 議長室にて  
 (左から 秀島敏行市長、福井章司議長、江頭弘美副議長、決算特別委員会 福島龍一委員長、本田耕一郎副委員長)

## 意見書

▼介護保険の国庫負担の増額等を求める意見書案 (賛成少数で否決)

▼重度身障者医療費助成等の現物給付を求める意見書案 (賛成少数で否決)

▼軽油引取税の課税免除措置の存続を求める意見書案 (全会一致で可決)

## 人事

▼学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書案 (全会一致で可決)

▼公共輸送機関の存続へ向け、JR九州等に係る経営支援策等に関する意見書案 (全会一致で可決)

▼環太平洋経済連携協定(TPP)交渉に参加しないように求める意見書案 (全会一致で可決)

